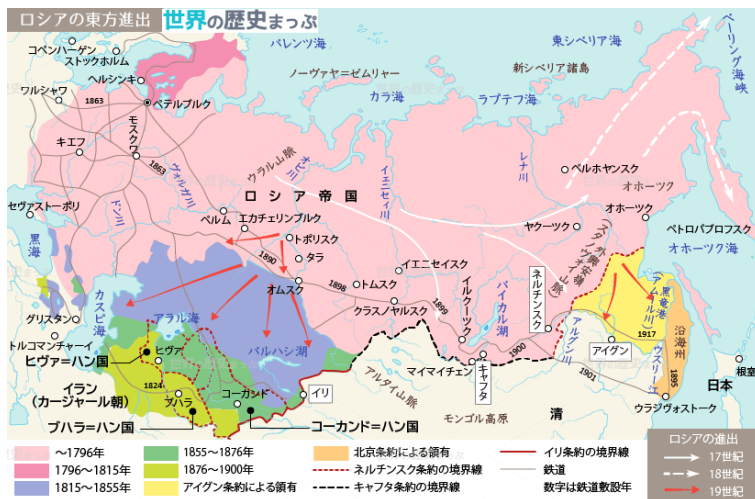


ネルチンスク条約の境界線はどこ？

【ネルチンスク条約の境界線は】

() と () を結ぶ線。



【ネルチンスク条約を結ぶ背景は】

17世紀後半、ロシアの()は、シベリア進出を進め、()獲得に動く。その過程で清との小競り合いが始まる

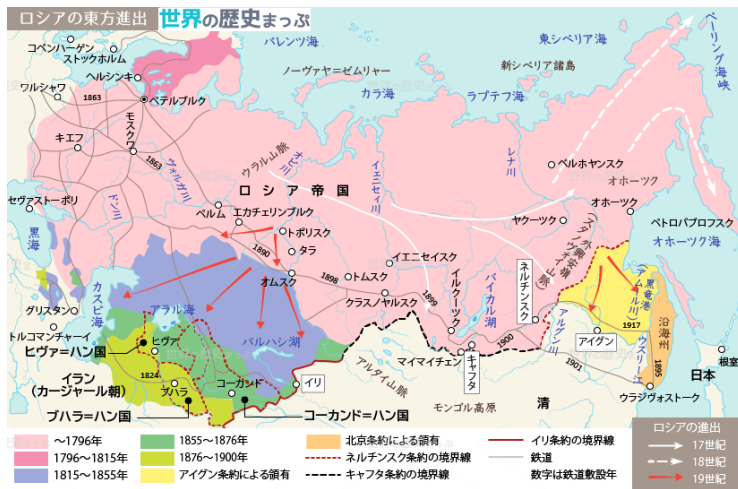
1685年から()の清軍と3年間戦闘し、その結果結んだのがネルチンスク条約。

cf) ネルチンスク条約は、中国がはじめて外国と対等の立場で結んだ条約。交渉の通訳としてキリスト教の()の宣教師たちが活躍した。

【この一連をロシア側から見ると】

()は、東方では清朝と()を結び、南方では()と争いながら()へ進出。

ロシアの海の出口を西の()に求める考えが強まり、スウェーデンの()と激突。 [1700~1721:()]



【キャフタ条約とは】

() を征服した清朝と南下したロシアが中央シベリア方面で接触し、その結果結ばれた条約。清朝は () の時。

【キャフタ条約を結ぶ背景は】

() により、東方進出し、 () で儲けていたのだが、この頃は毛皮の供給過剰で不振。清朝は () と争いをしており、北方から度々、 () に進出するロシアを警戒。

清朝と貿易を良くしたいロシアと外モンゴル支配を安定させたい清朝との望みより、条約を締結。



【アイグン条約とは】

1858年、清朝はロシアの黒竜江 () 左岸の領有を認め、 () は両国の共同管理とした。

【アイグン条約を結ぶ背景は】

1856年の () で国内が混乱していた清朝に対して、

東シベリア総督の（ ）が武力で威嚇して結ばせた。

【北京条約とは】

（ ）の終結に伴い、清朝が英仏と結んだ（ ）をロシアが仲介した報酬として結ばせたもの。（ ）の領有と（ ）の領有を認めさせた。ロシアは沿海州に（ ）を建設。（ ）を獲得し、日本海に進出し始める。



北京条約により、実質的に（ ）の効果は完全に失われた。北京条約で結んだ国境線を巡って、戦後、不明確な場所があり、（ ）が起きる。

【イリ条約とは】

1871年～のロシアと清の国境紛争（ ）を決着させた条約。ロシアのイリ地方占拠を1875年から77年にかけて（ ）の働きで排除するも、その後の返還交渉で失敗。交渉失敗に怒った（ ）は（ ）（曾國藩の子）を交渉に行かせて成功。1881年に（ ）を成立させ、イリ地方返還。

【イリ条約の背景には】

1853年（ ）敗北により、バルカン半島から国会方面への南下政策を止め、トルキスタン地域に侵入。

トルキスタン地域に侵入したのは、1861年～（ ）によりアメリカの（ ）の輸入が困難になり、トルキスタン地域の綿花が貴重となったから。

トルキスタン地域侵入で、最も北の（ ）を滅ぼし、（ ）と（ ）を保護国にしている。イリ地方の（ ）とロシアが激突し、ロシアが占領（ ）この解決にあたり、清朝と揉め合い1881年に（ ）が結ばれた。